

FALプロジェクト概要



テーマ

「元気高齢者」が集う公共施設で これからの高齢者社会で何ができるかを考える

連携先

株式会社 ビケンテクノ

主な活動場所

吹田市立高齢者いきいの家

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

少子高齢者社会、持続可能な地域づくり

活動内容 概要

「吹田市立高齢者いきいの家」にて「元気高齢者」との世代間交流を通じて、これからの少子高齢者社会や持続可能な地域社会のためにどのようなことが必要とされており、自分では何ができるか、仲間とともにディスカッションし、実際に高齢者への講座企画・開催を行う。

活動の目的

- ・スマホ/パソコン相談、講座のサポート等で利用者との交流を通じて高齢者をサポートし、高齢者が抱えている困りごとを知る。
- ・持続可能な地域社会のために公共施設のあり方を考察し、持続可能であるために何が必要かディスカッションを行う。
- ・「高齢者いきいの家」で吹田市の条例にあった講座イベントを企画し開催する。
- ・必要・要望に応じて、大阪府内の公共施設で「元気高齢者」と交流し、講座イベントなどを開催する。

求める人材像

- ・誰かのために自分が何ができるか考え行動したい人
- ・はじめてのことでもチャレンジしたい人 ・少子高齢者社会に関心がある人
- ・人との交流を楽しめる人 ・持続可能な地域社会づくりに関心がある人
- ・チームで話し合い、講座開催までチャレンジできる人

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 誰かのために自分が何をしたらよいか考え行動することができるようになる。
- ▶ 自分の意見だけでなく、他の人の意見も尊重し、1つの成果物を作る達成感を味わうことができる。
- ▶ 今後予想される少子高齢化社会とはどのような社会なのか、公共でどのような取り組みが行われているのか学ぶことができる。
- ▶ エコ活動(菜園活動、太陽熱クッキング、ベランダ発電、堆肥づくり等)を通じて、持続可能な社会のためにどのような取り組みをしたらよいか考察できるようになる。

FALプロジェクト概要



テーマ

地域におけるさまざまな「居場所づくり」に取り組む

連携先

八幡市役所、八幡市社会福祉協議会、浄土宗超泉寺、社会福祉法人みつわ会、和歌山市社会福祉協議会

主な活動場所

八幡市(京都府)、寝屋川市(大阪府)、和歌山市(和歌山県)
*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

居場所づくり、地域交流マルシェ、精神障がい、子ども、地区社協

活動内容 概要

だれもが支え合い、活躍できる地域共生社会の実現に向けて、さまざまな連携先と協働しながら、大学生の「得意」を生かした居場所づくりに取り組みます。

八幡市役所、八幡市社協:さまざまな「得意」をもった人が活躍できる「みんなの居場所」づくりに向けた協議および居場所の運営

浄土宗超泉寺:寝屋川市内の寺院で実施するマルシェでブースの企画、運営

社会福祉法人みつわ会:寝屋川市内にあるカフェ「オアシス」のコミュニティスペース化

和歌山市社協:地域ごとの特性を生かした「子どもがいきいきと過ごせる居場所」づくりに向けた協議および居場所の運営

活動の目的

- ・それぞれの地域の想いを理解し、活動に真摯に取り組む
- ・対象を意識した多様な情報発信を行う
- ・地域共生社会の実現に向けて大学生にできることを考え、実践する

求める人材像

とにかくさまざまな実践に積極的に取り組みたい方!

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 多様な価値観、境遇を想像し、それらに寄り添う力
- ▶ 人や組織の「強み」を把握し、その活用方法を発想する力
- ▶ 情報の内容や受け手を意識したさまざまな情報発信を行う力

FALプロジェクト概要



テーマ

ステップファミリー当事者団体(SAJ)を支援しながら、 社会問題を社会的に考える

連携先

「SAJ(step family association of Japan)」(伊藤サリーと緒倉珠巳の両理事)

主な活動場所

学内外(団体から出された課題を集団討議)、WEB(SAJの月例役員会の議事録作成)他

キーワード

ステップファミリー、離婚と再婚、継父母、家族らしさ再考、
暮らしの多様性、表現としての名乗り

活動内容 概要

様々な家族があります。その中には、生物学的な親子関係にない子供と親の組み合わせを一組以上含む家族もあります。家族観次第の面はありますが、そのような家族がステップファミリーです。例えば、離婚後元のパートナーとは別のパートナーと同居を始めた親と実子がいた場合、「ステップファミリー」が形成されます。ステップファミリーの出会い困難には、社会的困難の側面があります。つまり、ステップファミリーの問題には、家族とはどのような集団であるべきか、という規範意識の問題や、どのような呼び名が適切なのかというカテゴリー編成の問題があるので、SAJ(連携先)からの課題を考えることが、社会を考えることになります。SAJは、2001年に設立された民間の団体です。その活動を支援するなかで、家族のことや社会のことを一緒に考えましょう。活動は、まず、映画を見ます(『最初の晚餐』又は『家族はじめました』)。次に、SAJの活動を支援します(支援1_WEB上の役員会の議事録作成。支援2_提案された内容を集団討議して回答。支援3_SAJのHPについて意見を述べる。支援4_SAJの教材づくりをする(無料素材を利用したアニメ化、アテレコ等)。支援5_話し合いをしながら、多様に自由にSAJ支援をする)。このFAL活動の成否は、皆さんの創意と工夫にかかっています。紙芝居を作ってもよいでしょう。映画評座談会なんかも考えられます。いっしょに「どんな支援が喜ばれるか」考えて行きましょう。折々、SAJの役員の方と懇談の機会を持ちます。複数年の継続的活動ができると、より深く学べるのでおすすめです。注:日程については、プロジェクト参加者と相談しながら決定します。

活動の目的

- ①SAJの教材を工夫しながら作成する(関連して議事録作成もする(zoomも活用))。
- ②SAJから諮問された内容に関してフリーディスカッションして回答を届ける。
- ③SAJのHPをグループ別に担当を割り振って、内容確認のうえ、改善策を提言する。

求める人材像

家族の多様性を理解尊重できる学生。 ・創意工夫力のある学生。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ <ステップファミリーの問題>を自分事として考えることができる力。仲間と話し合う力。
- ▶ 大人に対しての本格的なプレゼン能力。
- ▶ 自分や学友の個性の多様性が、提案の多様性につながることを理解する能力。

FALプロジェクト概要



テーマ

アフターコロナ時代の自治会活動継続のために

連携先

八幡市(行政)

主な活動場所

八幡市役所・男山地区

*学外での活動に加え、学内での事前・事後学修を適宜実施します

キーワード

自治会(町内会)・団地・高齢化・ニュータウン・外国人・多文化共生

活動内容 概要

京都府八幡市と連携し、増加している外国人住民と日本人住民の交流イベント「やわたすぽーつまるしえ」(グルメを楽しめる運動会)を開催する。「すぽーつまるしえ」は、始まったばかりのイベントのため、企画段階から参加し、市役所職員と一緒に作っていく。

活動の目的

- ・アフターコロナ時代の自治会・町内会の現状と課題を知る。
- ・高齢化した住宅団地のコミュニティの状況を体感する。
- ・自治会を始めとする地域住民と外国人住民との共生社会実現に向け、課題や解決方法について考える。
- ・市役所職員の仕事に触れ、具体的に理解する。
- ・若い力とアイデアで、市のイベントを企画・運営する。

求める人材像

- ・地域のコミュニティの在り方、多文化共生といった課題に関心がある人。
- ・市民や行政と協働したイベントの企画や運営に興味がある人。
- ・地方公務員の仕事に関心のある人。

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ 目標を達成するための力
- ▶ 他者と協働するための力
- ▶ 新たな価値を創造する力

FALプロジェクト概要



テーマ

“うまくいく”人間関係をビデオ・エスノグラフィーから考えてみよう

連携先

敷島住宅株式会社、有料老人ホームこもれび(寝屋川市黒原城内町)

主な活動場所

学内、有料老人ホームこもれび(寝屋川市黒原城内町)

*学外での活動は撮影・データセッションのみで、基本的には学内・オンラインでの学修・研究です。

キーワード

ビデオ・エスノグラフィー、質的調査、人間関係、介助、相互行為分析

活動内容 概要

介助は人と人との間で行われるものであることから、同程度の知識や技能をもつ介助者であっても同じ介助ができるとは限りません。“うまくいく”関係もあれば、“うまくいかない”関係もあります。その違いは、相互行為の機微のなかでどのように現れるのでしょうか。本FALでは、現場をビデオ撮影しそで行われている相互行為を分析するビデオ・エスノグラフィーのほか、インタビューやフィールドワークなどの質的調査法を駆使します。現場の方々抱える問題の解決と一緒に取り組みましょう。

活動の目的

- ・インタビュー、フィールドワーク、ビデオ・エスノグラフィーといった質的調査手法を身に着ける。
- ・人と人、人とモノとのインタラクションのなかで「見られているが気づかれないこと」に気づくようになる。

求める人材像

- ・人間関係を深く観察する眼を養いたい人
- ・質的調査に関心のある人
- ・福祉に関心のある人

活動を通じて得られる知識・スキル・視点など

- ▶ インタビュー、フィールドワーク、ビデオ・エスノグラフィーのスキル
- ▶ 人間関係や人間行動を深く観察する視点
- ▶ 問題を発見して解決へ導く力